

事務事業名 介護基盤緊急整備事業		所属部 健康福祉部	所属課 長寿障がい福祉課
総合計画体系	政策名 (Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち<<保健・医療・福祉>>	所属G 高齢者福祉G	課長名 糸原 幸子
	施策名 (22)高齢者福祉の充実	担当者名 晴木 幸江	電話番号 0854-40-1042 (内線) 2151
	目的 対象 65歳以上の市民 意図 生きがいを持って、いきいきと暮らす。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 8 介護基盤緊急整備事業 項目 中事業 中事業名 0 5 3 5 0 1 介護基盤緊急整備事業	
	基本事業名 (066)介護サービスの充実と介護予防の推進 目的 対象 65歳以上の市民 意図 介護予防をする。介護サービスを受ける。		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22 年度～ 28 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
介護保険法上の地域密着型サービス事業所の整備を推進するため、県基金事業として創設された介護基盤緊急施設整備事業費補助金を活用し、市が選定した開設予定事業者に対し補助金を交付する。27年度からは地域医療介護総合確保基金による支援制度として実施される。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 介護保険事業計画の基盤整備計画により、小規模多機能型居宅介護1事業所、認知症対応型共同生活介護1事業所を開設する法人に対し、施設整備費に対する補助金を交付した。 開設場所: 大東町養賀 法人名: 榎如水舎 開設事業所名: 小規模多機能ホーム雲水屋(くまみや)登録定員29名、グループホーム雲水屋 定員18名	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 該当なし				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 交付件数	件	1	0	2	0
	イ 補助金交付金額	千円	1,341	0	64,000	0
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	介護サービスを必要とする要介護認定者	ア 要介護認定者数	人	2,786	2,821	2,817	2,901
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	事業者が参入しやすい環境をつくり、介護施設整備を促進することで、介護サービスの質の確保を図る。	ア 地域密着型サービス受給者数	人	328	344	338	355
		イ 地域密着型サービス事業所数	事業所	20	20	22	28
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
雲南市介護施設等整備事業費補助金 小規模多機能型居宅介護 32,000千円 認知症対応型共同生活介護 32,000千円 計 64,000千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円	1,341	0	64,000	
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円				0
	事業費計(A)	千円	1,341		64,000	
人件費	正規職員従事人数	人	2	0	2	
	延べ業務時間	時間	100	0	200	
	人件費計(B)	千円	389		783	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,730		64,783	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
急速な高齢化に伴う要介護者の増大に対応するため、緊急的に介護の基盤整備を行う必要がある。整備を進めるに当たっては、住み慣れた地域で生活できるように地域密着型サービスの提供が求められている。	地域密着型サービスの基盤整備については20年度までは国交付金により助成を行っていたが、21年度に国が打ち出した介護基盤緊急整備施策により、県の基金事業として金額を上乗せした助成事業が23年度までを限定として創設された。市においても22年度からこの事業を活用することとした。	法人からの事業所開設の要望や、ケアマネージャー等からの意見を集約し、介護基盤整備計画を策定している。

事務事業名	介護基盤緊急整備事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	------------	-----	-------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																				
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																					
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																				
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																					
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	この事業により整備することとなっている施設は、地域のニーズを反映し整備計画を立てたものである。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																					
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	施設整備に対する経済的支援がなくなり、基盤整備が進まなくなる恐れがある。																		
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																					
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業はない。																				
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	県補助金と同額を交付することとしており、市からの持ち出しはない。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																					
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助事業者との協議等により進めていくものであるため、委託することができない。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																					
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	補助事業者の選定は公募により行っている。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																					
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																			
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>緊急的な基盤整備推進のため、従来の国交付金に代わり県補助金制度となり、国の制度が継続される限り市の制度も存続させる計画である。27年度からは、地域医療介護総合確保基金による支援制度として実施している。計画的に整備した結果、地域密着型サービスは充実してきたと思われる。</p>		<p>② 改革・改善による期待成果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持		●	×																			
低下		×	×																			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<p>② 改革・改善による期待成果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト			削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
			コスト																	
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		●	×																	
低下		×	×																	
<p>緊急的な基盤整備推進のため、従来の国交付金に代わり県補助金制度となり、国の制度が継続される限り市の制度も存続させる計画である。27年度からは、地域医療介護総合確保基金による支援制度として実施している。計画的に整備した結果、地域密着型サービスは充実してきたと思われる。</p>																				